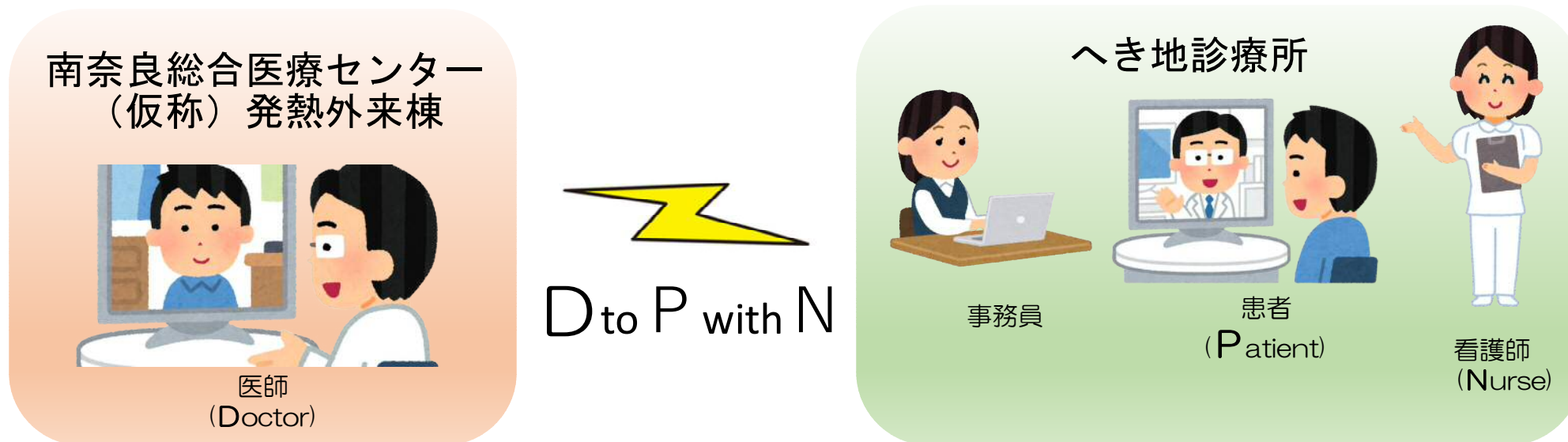


《報告事項》

- (1) へき地診療所におけるオンライン診療の有効な活用について
- (2) へき地診療所を支援できる体制の強化について



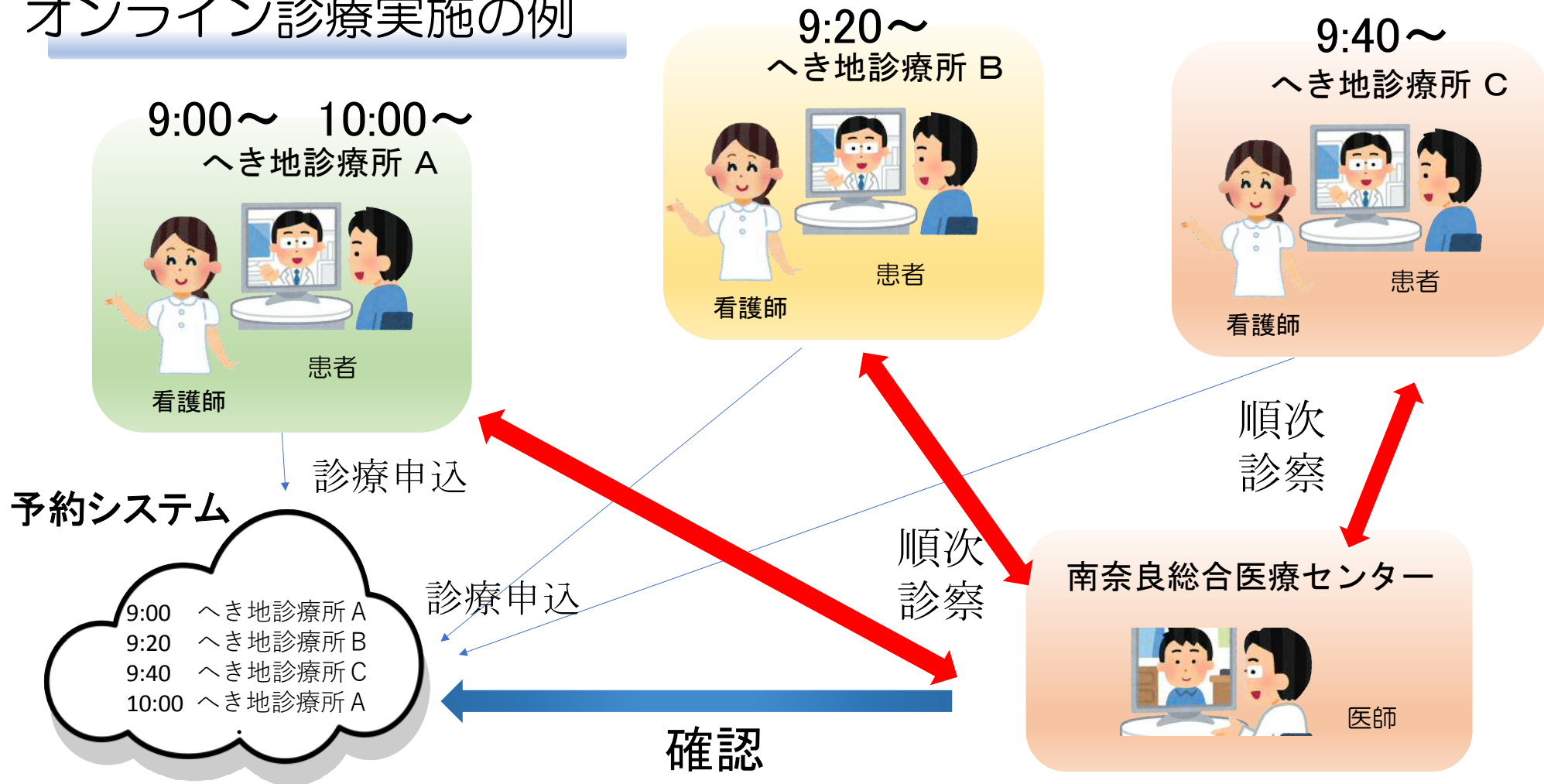
へき地診療所へのオンライン診療実現を目指します



- 2025年問題等による医療従事者の不足。人口減少に伴う患者数の減。へき地医療を取り巻く様々な問題の中、医療提供体制を守るため、今後、へき地医療には新たな取り組みが求められています
- 国は、第8次医療計画（2024年～）の中で、へき地へのオンライン診療の導入推進を図っていく予定です。
- 先進地事例を参考にすることで、南和地域でも迅速な導入が可能です。
- へき地診療所へのオンライン診療は、休診日等を利用し、現状の医療提供体制を更に充実させる目的で行おうとするものです。
- 導入にあたっては、費用対効果も考え、可能な限り安価な導入費用を目指します。



オンライン診療実施の例



南奈良総合医療センターからへき地診療所の患者さんを診療するオンライン診療が実現できれば、1名の医師が同じ日に複数の診療所の診察を行うことも可能となります。通常の診療はもちろん災害時に道路が寸断された際など、住民の安全安心につながる多くの可能性を秘めています。企業団では本年度中の試験運用開始を目指します。



へき地支援ナースの育成を進めています

院内研修

院内各所属より若干名ずつ希望者を選抜



へき地支援ナース候補者

研修開始

※ 病棟看護師には、へき地診療所において必要な「調剤」や「医療機器の管理」についての実務経験がなく、診療所ごとに診療の流れが異なる場合もあるため別途研修が必要となります。

キャリア開発
ラダーⅡ以上
を取得

複数部署で実習

経験部署：外科系病棟
内科系病棟

※ 経験3年以上
自立して看護活
動ができるレベル

実習：救急センター
整形外科外来
内視鏡室
薬剤部
訪問看護ステーション
在宅診療【研修日数：20日間】



さらに実習

へき地診療所現地実習

研修日数：8日間

※ 病院業務等を勘案し、候補者をそれぞれの病院内所属に配置した状態のまま、期間・曜日を限定し、実習のためへき地診療所に派遣。

※ 実習期間・曜日はへき地診療所設置自治体と協議の上で決定。



診療の流れ



医療機器管理



調剤

実習の受け入れについてへき地診療所設置市村に意向調査を行わせて頂いたところ、全市村より「受け入れ可」の回答をいただきました。

令和5年度実習（3名を3診療所に派遣）

7月 野迫川村国保診療所 9月 下北山村国保診療所(予定)
11月 黒滝村国保診療所(予定)



登録

へき地支援ナースとして登録し、診療所で看護師の休暇等により一時的な欠員が生じた際に派遣